



世界の動き身近な話題
中日新聞

さんぽみち

かわら版さんぽみち編集局 TEL 918-8116 福井市大町2-206-1 福井広報センター内
TEL 0776-28-2116 FAX 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

日刊 福井県民

ふくいの今がギョッと

ふくい 美術館博物館併設のカフェめぐり 第2弾

2月号に引き続き、福井市内の美術館と今回は博物館もプラスして併設のカフェ2件をご紹介します。いずれもここでしか食べられないメニューがある、特色あふれるカフェだ。どちらも美術館・博物館の入館料なしで利用でき、予約も可。

Cafe リンデン 越前ふくい美術館



一番人気のメニュー「チーズケーキセット」(1,300円)。全国各地を食べ歩き作り出された店自慢の一品「チーズケーキ」(650円)と、フレンチプレスで丁寧に入れた熟々のコーヒー(680円)がセットで楽しめる。ドリンクは他に、栄養素が豊富に含まれるアンチエイジングにも効果があるといわれる「モリンガ茶」(680円)や、「リンデンフラワーティ」(680円)、ジュース類(480円)も用意

昨年3月、北陸新幹線内延伸と時を同じくして福井駅西口徒歩3分の場所にオープンした「越前ふくい美術館」。越前奉書紙をはじめとした、越前和紙に摺(+)られた葛飾北斎の版画・浮世絵、藤田嗣治・東山魁夷の絵画などを中心に60点以上の美術品を展示している。併設の「Cafeリンデン」には外からの専用入口のほか、館内展示順路の途中にも入口があり、観覧途中に休憩し、再び館内を巡るなどの利用もできる。店内の大きな窓からは日本では「西洋菩提樹」といわれるリンデンの木が見える。ヨーロッパでは古くから街路樹などとして植えられるほか、人が集まる場所にリンデンの木があるそうで、東山魁夷の絵にも描かれていることや、この美術館が「人が集まる場所になるように」との思いが込められている。一押しメニューは「チーズケーキ」。濃厚でクリーミーだが、さっぱりとした味わいで、いくらかでも食べられそう。ぜひ、これを食べるためだけにここを訪れてほしい一品だ。



店内にはデンマークの歴史ある陶磁器メーカー、ロイヤルペンハガンの陶版画がかかる。ロイヤルブルーのテーブルも印象的でスタイリッシュな雰囲気



カフェには珍しく、最大8人まで利用できる個室がある。利用料は不要で、事前予約が必要。周辺には会社や官公庁が集まる立地から、商談などにも利用できそう

Cafe リンデン

- 福井市大手2-8-8 越前ふくい美術館内(カフェ専用入口あり)
- 0776-21-7355(予約可)
- 午前10時～午後6時30分(L.O.午後6時)
- 月曜日(祝日の場合営業、翌日休)・年末年始
- みずほ銀行横「パーク23」駐車場の駐車券提示で100円割引券を配布



カラモン CARAMON 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館



伝承・復元料理を楽しめる「CARAMON御膳」。「黒豆ご飯」や「あえませ」といった伝承、復元料理のほか、メイン、野菜の炊き合わせ、みそ汁など地元食材を使った手の込んだ料理が楽しめる。安賀渡地区のそば職人による手打ちのおろしそばも絶品。メインは四季によって変わる(写真はカキフライ)



「CARAMONパフェ」。米こうじ入りソフトクリームや羽二重餅、県産のフルーツなどふくいテイスト満載のここでしか食べられないパフェ。遺跡からの出土品「ゴブレット」に見立てたオリジナルの器にも注目

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館内にあるカフェ「CARAMON」では地元食材をふんだんに使った、ここでしか食べられない数々のオリジナルメニューを楽しむことができる。伝承・復元料理を味わうなら一番人気の「CARAMON御膳」(1,700円)がお薦め。また、安賀渡地区のそば職人の手打ちそばを使った「あげおろしそば」(1,200円)や東郷米を使用した「ソースかつ丼」(1,000円)など、福井県の名物をこだわりの食材で提供している。オリジナルブレンドコーヒーの「CARAMONブレンド」(400円)や笏谷石の色をイメージしたという青色が珍しい「クリームソーダ」(400円)など、カフェメニューも充実。中でもフルーツがもりもり載ったこだわりっぱいの「CARAMONパフェ」(1,000円)はオープン当初から不動の人気メニュー。見どころいっぱいの博物館と復元町並を見学してお腹がすいたらランチを楽しみ、再度観光に出かけてまた疲れを感じたらカフェメニューでホッと一息と、ここを拠点に、一日中遺跡探索を楽しむことができそう。店内奥の大きな窓からはJR越美北線が見え、電車を眺めるのにも絶好のスポット。子どもメニューとして唐揚げやハンバーグの載った「キッズプレート」(600円)がある。(※価格は2月末日時点。以後変更の可能性あります。詳しくは博物館のホームページで確認ください)

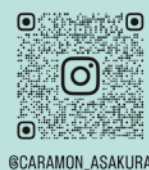


木を基調にしたナチュラルテイストの店内はくろぎ度抜群。壁にかかった観葉植物もおしゃれ



CARAMON

- 福井市安波賀中島町8-10 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館内
- 080-4413-0387(予約可)
- 平日:午前10時～午後4時(L.O.午後3時30分)
- 土曜・日曜・祝日:上記に30分延長しての営業
- ランチタイム:午前10時～午後2時30分
- 博物館に準ずる。月曜日は不定休あり。詳しくは博物館の開催カレンダーで(https://asakura-museum.pref.fukui.lg.jp/about/calendar)
- 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館の駐車場を利用
- 博物館ホームページで情報発信中



※価格はすべて税込。内容、価格は変更になる場合があります

中日新聞・日刊県民福井の購読のお申し込みは ☎0120-888-291 午前9時30分～午後6時(平日)へ

さんぽみち

おさんぽ こみちの 気になるお店に 行ってきました!



福井のご当地グルメとしてなじみ深いソースかつ丼。店ごとに特長や味わいはそれぞれで、各店の食べ比べも楽しい。福井市足羽4丁目にあるソースかつ丼専門店の「かざぐるま」もぜひ味わってほしい店だ。長年スナックとして人気を集めていたが、2022年、コロナ禍をきっかけにソースかつ丼専門店として再スタートした。提供するメニューは「かつ丼セット」(1,000円)一択。肉の厚みは薄すぎず厚すぎず。国産の豚肉を丁寧に筋切りし、肉本来の弾力も楽しめる軟らかさだ。県産コシヒカリのご飯に、生パン粉を使ってふっくらサクサクと揚がったとんかつがドン。まろやかな甘さが追いかけてくるスパイシーなオリジナルソースがたっぷりかかる。それだけでもボリューム満点な上に、おろしそばとみそ汁が付いている。客の中には完食を諦めて途中で持ち帰り用の容器をリクエストする人もいそう。テイクアウトはかつ丼のみで800円。かつ丼として食べきれないかつを別に取り分けておいて、サンドイッチにしたり卵でとじたりして別メニューとして楽しむ常連客もいそう。



ごはんの大盛り(+100円)は、実物のボリュームを見てからご注文ください



マスターの訓男(のりお)さん。温かい笑顔そのままの人物



店内はテーブル席が2つとカウンター席が9席

ソースかつ丼専門店 かざぐるま

- 福井市足羽4-9-16
- 0776-35-7236
- 午前11時～午後3時、午後5～9時
- 火曜日(祝日の場合営業、翌日休)
- 5台



受験シーズン終盤! こみちのおすすめ勝負飯 かざぐるまの「ソースかつ丼」

開花はいつかな? 桜めぐり



坂井市 三国成田山



福井市 足羽山



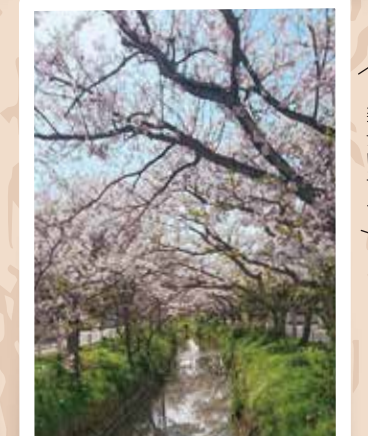
レングーグラウンド



あちら市 山室のあらた坂



福井市 足羽川遊歩道



福井市 馬渡川



福井市 県庁お堀



ライトアップされるお堀の夜桜もステキ



福井市 佐藤整形外科の待合室から見える足羽川遊歩道の桜



一本桜で有名な味真野小の近く

越前市 文室川

出張教室します!

簡単♥おいしいクッキング〜



湯せんで簡単「茶わん蒸し」

【作り方】

- うどんつゆに卵を割り入れ、泡立たないように静かに混ぜて卵液を作り粗目のざるでこしておく。
- 器に好みの具を入れて卵液を8分目ほど注ぐ。
- 鍋に水を入れて沸かす。(水の量は器が半分ほど浸る量)
- 2にラップフィルムを被せて鍋に入れ、ふたをして弱火で10～12分湯せんにする。
- やけどに注意してラップを外し、三つ葉を入れ再度ラップを被せ、そのまま10分ほど放置する。

【材料】(3人前)

- 卵 3個
- うどんつゆ(液体) 280cc
- 鶏ササミ、シイタケ、かまぼこなど適量
- 三つ葉 少々

※具はむきエビや枝豆、ギンナン、カニカマ、ゆでたホウレンソウなどお好みのものでアレンジを

器の厚みや形状によって固まる時間が変わります。揺らしてみて、固まり方が緩い場合は加熱時間の延長を。



新聞ちぎり絵

みなさんも始めてみませんか?

新聞ちぎり絵に親しむ人が増えています。素材は新聞紙。下絵に合わせて新聞のカラー紙面をちぎって貼り合わせて絵を描いたもので、世界に1つだけの味わいのある作品を作ることができるのが魅力です。



新聞ちぎり絵体験会 始めます

ご希望の公民館サークルやお友達グループなど、開催場所と参加人数をご連絡ください。スタッフがみなさんの町にお伺いします。詳しくは中日新聞、日刊県民福井 販売促進部 ☎0776(28)2116=までお気軽にお問い合わせください。(新聞ちぎり絵体験会について)とお伝えください。費用として材料代(新聞ちぎり絵カードブック10枚つづり)300円が必要です。

さんぽみちは中日新聞・日刊県民福井に折り込まれている地域情報紙です。 次号の発行日は4月6日(日)。お楽しみに!!